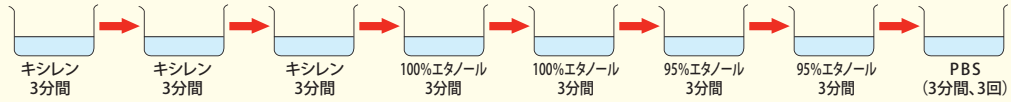


操作手順

*各ステップでの反応温度、反応時間は厳密に守ること。
 *特に温度指定のない場合は、常温(15~25℃)で操作すること。
 *染色結果に影響を及ぼす為、必ず下記の操作手順に従って操作を行うこと。

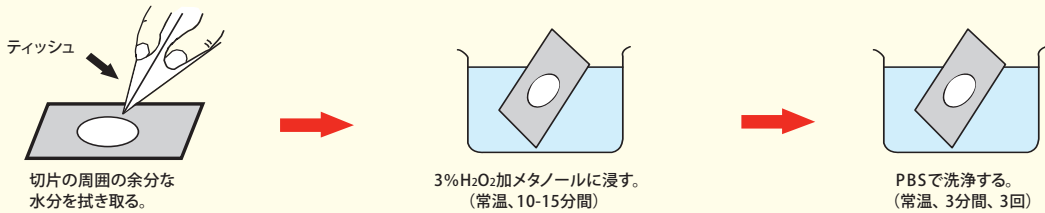
マウスステインキット

●脱パラフィン(パラフィン包埋切片)

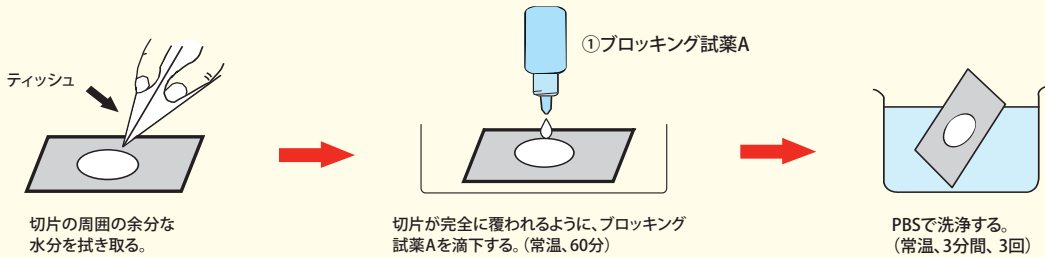


*各ステップごとによく液を切る。
 *脱パラフィンを完全にするために、各溶液はスライド40枚ごとに取り換えることが好ましい。

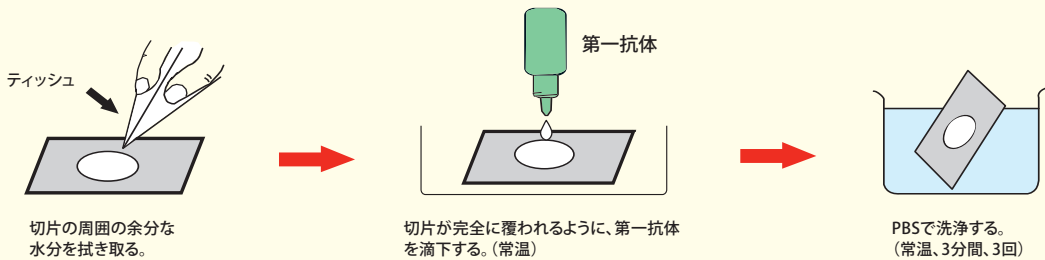
●ブロッキング試薬 I による処理(3%過酸化水素加メタノールによる内因性ペルオキシダーゼ処理)



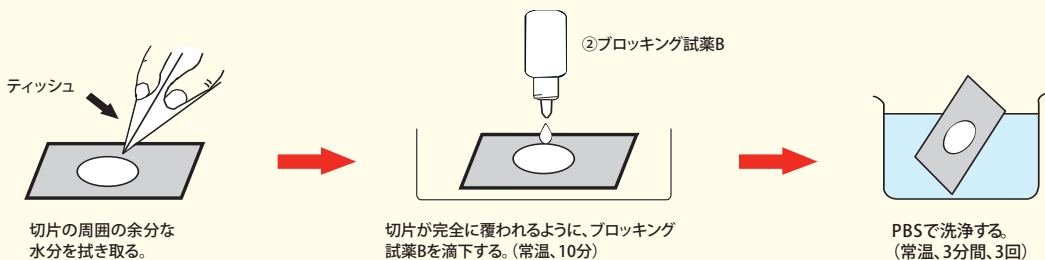
●ブロッキング試薬 A の添加・反応




●第一抗体の添加・反応

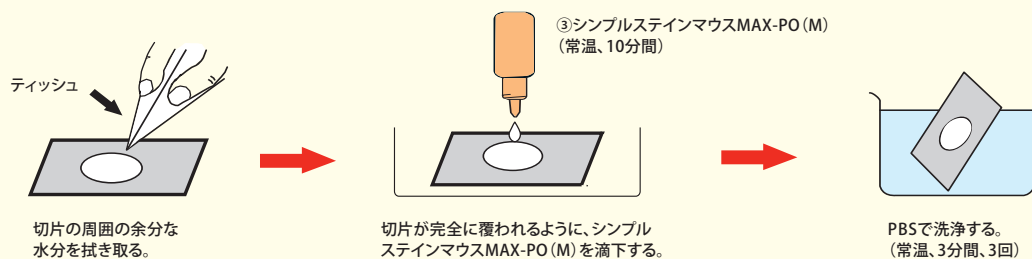


●ブロッキング試薬 B の添加・反応



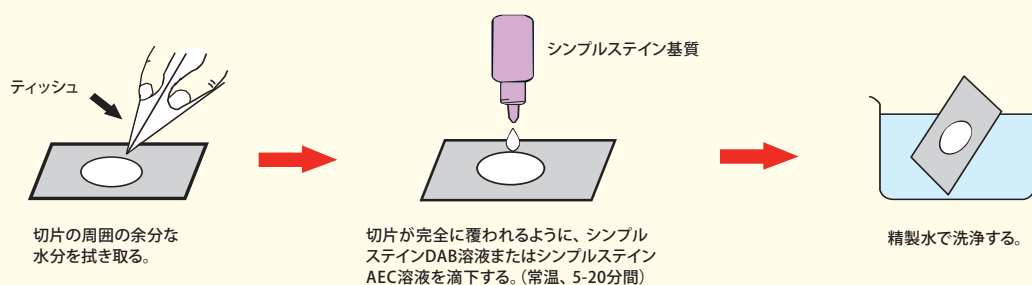

 免疫組織化学染色試薬

● シンプルステインの添加・反応



● シンプルステイン基質の添加・反応

* シンプルステイン基質溶液の他、各種ペルオキシダーゼ用基質溶液も使用できます。



● 対比染色

● 封入

基質溶液がAEC発色の場合はそのまま水溶性封入剤で、DAB発色の場合は水洗、脱水、キシレンによる透徹後、非水溶性封入剤で封入する。

- * 抗原賦活化処理および各反応条件等については、電子化された添付文書または使用説明書に従う。
- * 操作中の反応は、湿潤箱の中で行う。